

会創立四十五周年記念祝賀会

令和二年二月二十四日 午前十時三十分開会

梅花の時節、シエラトン都ホテル大阪四階「浪速の間」に於いて同祝賀会が開催されました。

津村緑秀先生の司会で始まり、米田緑海先生の先導による国歌斉唱。西岡緑優さんの先導による

会詩合吟へと続き、荘厳な雰囲気の中で、物故者追悼の黙祷が行われました。



開会の辞
大会実行副委員長
若杉緑高先生

第一部「合吟」では、各支部の6グループと、担当講師グループで吟詠を披露しました。



司会は徳岡緑江さん



クローバー・百楽・京口支部



大和・社子・曙・城内支部



上新庄・新森・服部ひびき・笑榮・秋篠支部



十三北野・まどか・新北野・ゆる友・葉の花支部



五領・川西・玉造支部



担当講師



南方・治宮・淡路トマト・松原・瑞光北・羽曳野支部

第二部の「会員吟詠」では、藤井竹外奉賛全国吟詠コンクールで吟士権を獲得された五人が吟詠を披露。



宮内緑郷



加藤緑絆



松本緑遙



井内緑叡



石川緑誓

続いて、日本吟剣詩舞振興会主催全国吟詠コンクール一般の部で優勝された西岡緑優さんの吟詠は、圧巻の一言に尽きました。



第三部、式典の「開式の辞」では、昨年より重い病と闘っておられる実行委員長の辻緑樟先生から、四十五周年の喜び



と、祝賀会が成功裡に挙行された事への感謝、並びに緑崇流の益々の発展を祈念する言葉がありました。涙まじりのその声には、力強さがあり、会員の皆さんに希望を与えるものでした。

また、日頃より緑崇流の内々問わずご活躍されていまず渡辺緑翔先生が総本部特別功労者表彰を受賞されました。



大会相談役の中谷緑洲先生は、経験と実績を踏まえ、緑崇流の会員の支えに対して「感謝の言葉」を述べられました。



宗家からは、感謝の言葉と共に、今後「限りなき前進」を信条に、「吟は厳しく会

は楽しく」、会が五十年、六十年と発展できるよう決意を述べられました。花束贈呈の後、閉式の辞では、大会実行副委員長の宮原緑晃先生から、四十五年前を思い出し、「緑水」の名前の由来を話されました。「緑は色濃く、水の流れは力強く」自然界では、緑の中に水は集い、そしてそこに繁栄がある。今、四十五年を経過し多くの吟士権者を輩出し素晴らしい緑崇流になっています。五年後、一〇年後に向けて頑張つて参りましょう。と、力強い言葉がありました。



皆さまお待ちかね、第四部、祝宴です。



事務技術長
松村緑佳先生
「乾杯」



総務長 浦田緑鴻先生
「開宴のごとび」



司会の米田緑海
です。

加藤緑絆です。
もう、早く飲みたい
です！





獅子舞が太鼓と笛のリズムに乗って登場!



獅子舞が頭を噛むのは、その人の悪いところを噛み切るという意味があるとのこと、獅子舞が席を巡ると、会員一同大喜び。次から次へと、噛んでもらっていました。



何も仕掛けがない...



取れた!



さて次は、亜空亜SHINさんによるマジックショーです。驚きの連続で、皆さん口が開きっぱなしでした。中でも中国の伝統芸である「変面」(仮面の早変わり術)は素晴らしかったです。

また、渡辺緑翔先生、津村緑秀先生の手品助手や、浦田緑鴻先生がギロチンマジックに参加され、亜空亜SHINさんとの掛け合いは楽しく、会場を大いに笑わせました。



繋がった!



うわっ! 浮いた!!

エビぞり



運命やいかに!



続いて加藤緑
絆さんの巧妙な
司会進行による
カラオケタイム
です。トップ
バッターは、宗
家が扮する東海
林太郎の「赤城の子守歌」。途中でシャ



ンパン（ダブルマ
グナム）のサービ
ス付きで大いに盛
り上がりました。



緑崇流
NEW アイドル!

続いて、高校生の西本朱里さんが、
和楽器バンドの「なでしこ桜」を熱唱。

その次は懐かしい吉野緑恵先生や、
横山緑観さんを交えて、吟歴三十年
以上の会員による「河内おとこ節」。
緑崇流ダンスサーズも会場狭しと踊り
回って
いまし
た。



WATANABE三兄弟



上を向いて歩こう♪

渡辺緑翔先生・渡部玲子さん・渡部祥太さん。
兄弟ではなく「親子?」いやいや…孫??
司会の加藤さんからの突っ込みもあり(笑)

次に吟歴四十五年以上の先生方による「高校三年生」。若々しいその声に会場の手拍子が鳴り響きました。



キャンディーズvsジュリー

次は、恒例に
なりました新森
支部の皆さんに
よります替歌
歌謡「新森支部
365歩のマ
チ」を絶唱。



ゆる友

長い夜♪



十三北野

大阪ラブソディー♪



京口支部・クロー
バー支部は、キング
レコード歌手でもあ
る松本緑遥先生の
「夫婦善哉く女の意
気地」を熱唱。



支部30周年
淡路トマト

本日の「トリ」です。実行委員長
の辻緑樟先生による「まつり」。笑顔
で、いつも通りの力強い大熱唱でした。



楽しい宴会も、あつと言う間でした。
岩本緑利先生の「閉宴のことば」
では、多くの喜びの聲が溢れていま
した。



青春時代♪

万歳三唱は、中山緑山先生です。声高らかに会場内に響き渡りました。

バンザーイ!

バンザーイ

バンザーイ!



最後に、皆さんで輪になって、恒例の「星影のワルツ」を大合唱しつつ、参加された会員並びにその家族の健康とご多幸を祈り、今日の喜びと感動に包まれつつお開きとなりました。



会創立45周年記念祝賀会

緑崇流吟道緑水吟詠会総本部



(編集委員 文・宮内緑郷
レイアウト・津村緑秀)

会創立四十五周年記念祝賀会を終えて
大会実行委員長 辻 緑樟

昨年、この祝賀会の実行委員長を、宗家先生より命ぜられました。病と闘っている私としては、重荷であるとお断りをして参りました。しかし、宮原緑晃先生、若杉緑高先生を始め、多くの役員の方々が、会員の皆様から暖かい励ましのお声を掛けていただき、引き受けする事と致しました。

緑崇流の四十五周年の喜びに包まれる中、役員の方々がそれぞれの立場と役割を全うし、大成功裡に終える事が出来ました。ありがとうございます。

私が実行委員長として最もやりたかった事は、「会員の皆様が楽しめる会」にする事でした。その通りになったと思えます。会員の皆様が、気を遣わずに、舞台上上げてもらって、和気あいあいとした雰囲気の中で、文字通り皆様が楽しめた「最高の会であった」と自負しております。

今後共、緑崇流の益々の発展と、会員の皆さまのご健康と、ご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

皆さん!

有難うございましたア〜!

総本部特別功労者表彰を戴いて
大会副会長 渡辺緑翔

緑崇流吟道緑水吟詠会に入会して、恩師故實輪緑崇先生がご逝去されるまでは、緑の傘の中で、ただ一途に吟を研鑽して参りました。先生が他界されてからは、私の身の丈に合わないお仕事をお任せ背伸びしてさせて頂いたと、自負しております。

この度、会創立四十五周年記念祝賀会に於きまして、宗家先生より感謝状を頂戴致しました。その瞬間、初めて「私は今、認めて頂いたのだ」と実感させて頂きました。これも偏に、宮原緑晃先生をはじめ担当師範の先生の推薦があつての事と有難く感謝を申し上げます。

これからも緑崇流会員の皆さまと共に、会が益々繁栄していく事を願い、吟剣詩舞道憲章に謳っていますように、詩歌に親しんで、情緒を高め、また、日本民族の心を探求しながら、自己を高めていきたいと思っております。ありがとうございます。



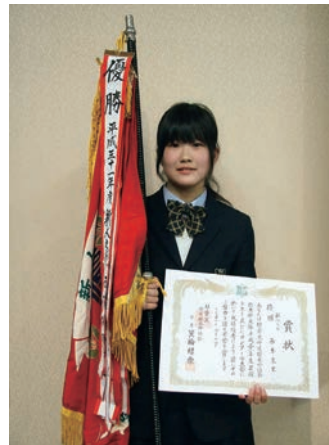
平成 31 年度昇段テスト並びにコンクール大会

高槻現代劇場 平成 31 年 4 月 14 日 (日)

《入賞者の歓びの声》

新人の部 優勝

川西支部◇西本朱里^{あかり}



この度、新人の部優勝と言う荣誉を頂き嬉しく思っております。詩吟を始め一年余り、井内緑叡先生の熱心で丁寧なご指導、川西支部の先輩方の温かいご声援、そして大会で優しく声をかけてくださる緑崇流の皆様のおかげだと思ひ、深く感謝しております。

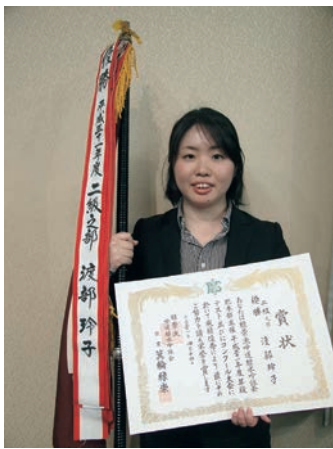
私が「詩吟」と出会ったのは小学校低学年の時でした。詩吟を始めた祖父（加藤念叡）が家で「新正口號」を練習していた頃には「しゅくきー」と見よう見まねで吟じて楽しんで事もありません。私も詩吟を習いたいと思いつつ勇氣が出ないまま高校生になり、祖母に相談すると、祖母の大学時代からの親友である井内緑叡先生を紹介されました。

井内緑叡先生に詩吟を教えて頂くようになり、その魅力を日々感じるようになりました。祖母は、祖父と私が一緒に教室に行く姿を見て喜び、私の初舞台を見に行くのを楽しみにしてくれていました。不幸にも突然病気が見つかった祖母は、初舞台の一月前に他界しました。生きてい

うちに見に来て欲しいという願いは叶いませんでしたが、姿は見えずとも、きくと見に来てくれると信じています。令和二年四月には大学生になりますが、できる限り詩吟を続け、精進してまいります。これからも温かく見守ってくださると嬉しいです。

二級の部 優勝

南方支部◇渡部玲子



この度、昇段テスト二級の部において優勝という荣誉をいただき、大変嬉しく思っております。渡辺緑翔先生の熱心なご指導のおかげと、心より

感謝申し上げます。

吟との出会いは南方支部の柳井さんからのご紹介でした。先生や上手な先輩ばかりの支部に初心者一人、恐縮してしまうと同時にすばらしい環境でお稽古できることを嬉しく思いました。

詩吟のことは全く知らずに入会しましたが、二分以内、点数方式など、スポーツのようにわかりやすく競技をする点が大変おもしろく感じられ、すっかり楽しくなりました。

最近の仕事の都合で南方支部のお稽古に参加できないことも多いため、玉造支部や淡路トマト支部のお稽古に参加させていただくこともあり、どの支部にもカラーがあり新鮮な心持ちで参加させていただいております。また、先輩の皆様の吟を聴きながらの練習は大変勉強になります。まだまだ初心者で吟声もできていない私ですが、詩吟の練習はいつも楽しい気持ちで励んでおります。

今後も精進して参りますので、ご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

初段の部 優勝

京口支部◇細越 保

この度、初段の部で優勝を頂き身に余る思いでございます。松本緑遥先生

生を始め諸先生方、又諸先輩の皆様のご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

私が詩吟を始めたきっかけは亡妻が余命宣告をされた時、「お父さん詩吟をしなさい」と、声を出す事は、健康に良いと勧められた事が始まりです。

三年前、松本緑遥先生と出会い、一年が過ぎた頃、先生が京口支部を開かれる事を聞き、緑崇流に入会させて頂きました。

松本緑遥先生にご指導を頂きながら、時折、辻緑樟先生に、吟のヒントを頂く機会もあり、生まれて初めて優勝の喜びを味わいました。

これからも益々、吟道に精進を致し頑張つて参ります。宗家箕輪緑崇先生を始め諸先輩方、又会員の皆様どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございます。



令和元年度昇格者並びに新緑号取得者



令和元年度 上位昇段・昇格者及び新緑号名刺交換会が令和元年六月二十五日(火) 十三福祉会館で午後八時より行われました。

名刺交換会



七段
芳田 緑丞



九段
黒野 緑新



大海 緑明



石田 緑篁



島袋 緑令



松井 緑隆

《新緑号》

平成31年度昇段テスト 並びにコンクール 大会成績

優 勝 西本 朱里	優 勝 加藤 緑絆	優 勝 神崎 雅翔	優 勝 田脇 正枝	優 勝 西岡 緑優	優 勝 西岡 緑皓	優 勝 渡部 玲子	優 勝 辻 緑芳	優 勝 神崎 雅翔	優 勝 田脇 正枝	優 勝 西岡 緑優	優 勝 西岡 緑皓	優 勝 渡部 玲子	優 勝 辻 緑芳	優 勝 神崎 雅翔	優 勝 田脇 正枝	優 勝 西岡 緑優	優 勝 西岡 緑皓	優 勝 渡部 玲子	優 勝 辻 緑芳
準優勝 阪井 悟	準優勝 石川 緑誓	準優勝 吉村 昌翔	準優勝 高浪 信子	準優勝 島田 緑聲	準優勝 島田 緑聲	準優勝 山田 智一	準優勝 團 緑佳	準優勝 吉村 昌翔	準優勝 高浪 信子	準優勝 島田 緑聲	準優勝 島田 緑聲	準優勝 山田 智一	準優勝 團 緑佳	準優勝 吉村 昌翔	準優勝 高浪 信子	準優勝 島田 緑聲	準優勝 島田 緑聲	準優勝 山田 智一	準優勝 團 緑佳
準々優勝 田中美矢子	準々優勝 片山 緑都	準々優勝 吉川 誠晃	準々優勝 高浪 信子	準々優勝 島田 緑聲	準々優勝 島田 緑聲	準々優勝 山田 智一	準々優勝 團 緑佳	準々優勝 吉川 誠晃	準々優勝 高浪 信子	準々優勝 島田 緑聲	準々優勝 島田 緑聲	準々優勝 山田 智一	準々優勝 團 緑佳	準々優勝 吉川 誠晃	準々優勝 高浪 信子	準々優勝 島田 緑聲	準々優勝 島田 緑聲	準々優勝 山田 智一	準々優勝 團 緑佳
上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 辻 緑鯤	上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 高浪 信子	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 山田 智一	上位入賞 團 緑佳	上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 高浪 信子	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 山田 智一	上位入賞 團 緑佳	上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 高浪 信子	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 山田 智一	上位入賞 團 緑佳
上位入賞 久徳 嶺晃	上位入賞 辻 緑鯤	上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 高浪 信子	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 山田 智一	上位入賞 團 緑佳	上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 高浪 信子	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 山田 智一	上位入賞 團 緑佳	上位入賞 石田 洛陽	上位入賞 高浪 信子	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 島田 緑聲	上位入賞 山田 智一	上位入賞 團 緑佳



四段の部 優勝

南方支部◇神崎雅翔



この度、昇段テスト四段の部にて優勝させて頂きました。有難うございます。私は平成二十二年の八月に山の仲間の福本緑景先生の紹介で南方支部に習いに行くことになりました。その支部で指導されておられたのが、渡辺緑翔先生でした。最初に見学に行った時に渡辺緑翔先生に入会を勧められてそのまま入会致しました。それから今迄、愛情あるご指導を受けて鍛えられて来ました。又支部の諸先生方にも数多く教えて頂き感謝しております。今年元号が「令和」と成り、新たな気持ちで益々精進して吟道を歩んで行きたいと思っております。ありがとうございます。



九段の段位を載いて

みつわ支部◇黒野緑新

この度、九段の段位を戴き有難うございました。昭和五十年十月に入会して昭和・平成・令和と三元号かけて戴いた九段、四十五年かけてやっと到達した感じがします。四十五年と書けば長く感じますが、私の頭の中では短くもあり楽しい日々でした。

思い起こせば、四十五年前に住んでいた家の近くの電柱に貼られた「詩吟で大きな声を出しませんか」という一枚のビラに惹かれ、早速見学に行き、その場で申し込みました。

担当講師は故箕輪緑崇先生で、その教室は井高野教室でしたが、先生の都合で辻堂支部に吸収されました。それから三度目は緑水流を創流された故奥園緑水先生の教室と統一され、みつわ支部になりました。私は井高野、辻堂みつわと三支部に属してきました。

四十五年間色々たくさんの思い出、想いがありますが記憶に残るのは故笹川静江先生を間近で見られた事、武道館大会で合吟できたこと、三支部の担当講師であった故箕輪緑崇先生のリサイクルをお手伝いさせていただいた事等、本当に楽しい年月でした。

七段を載いて

クローバー支部◇芳田緑丞

この度、七段を戴き身に余る光栄です。私のような未熟者が戴いて良いものかと困惑しております。

私と詩吟の出合いは二十代頃、職場で詩吟のテキストを初めて見た時の印象が心に焼き付き、私も詩吟を習いたいと思いつきながら一人でその勇気も無く歳月が流れて行きました。

そのチャンスがきました。知人の紹介で軽い気持ちで入会して早や三十数年が過ぎました。まだまだ詩吟は上達しませんが、どんな時でも、担当講師の渡辺緑翔先生の大変厳しく熱心な指導を頂き心より感謝申し上げます。又支部の皆様にも大変お世話になって有難く感謝の気持ち一杯です。

ところで私は自治会の育成会で子供支援を行っていますが、そこで子供から「なぜ宿題をしなければいけないのか」と聞かれます。学校で勉強しているのに宿題をどうしてやらなければいけないか、という気持ちは理解できません。中学校の先生に尋ねると「宿題は復習、学んだことは反復する事で身に付く。また、自分で分かっていることとわかっていないことが明確になる」と教えていただきました。

詩吟も学んだことを復習する事は有意義な事で、今後に生かしていきます。

緑号を載いて

クローバー支部◇石田緑篁

この度は緑号を頂戴し、誠に有難うございます。雅号は緑篁と申します。十年前の古希を祝う同窓会の席で、故小谷緑楓先生の吟詠に大変感動し、当会に入会いたしました。以来、東山支部の黒澤緑陽先生のご指導の下、吟道に励んでまいりました。黒澤緑陽先生始め、支部の諸先輩方には、大変お世話になり、深く感謝しております。

令和の改元を機に、本年からクローバー支部に転籍し、渡辺緑翔先生の下で、さらに精進を重ねてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私事ですが、詩吟を始めた理由の一つに、自作の漢詩を吟じてみたいという思いがありました。最近の心境を、次の作品にしてみました。御笑読下さい。

詠吟道

吟聲朗朗響天空 清韻餘情和惠風
意氣浩然吾未老 欲窮真美詠懷中

(読み下し)

吟道を詠ず
吟聲朗朗として 天空に響く
清韻 余情 惠風に和す
意氣浩然たり 吾未だ老いず
真美を窮めんと欲す 詠懐の中

緑号を載いて

十三北野支部◇鳥袋緑令

この度、令和元年の記念すべき年に緑号を戴き感謝の気持ちで一杯です。

私が詩吟と出会ったのは仕事仲間とよく通っていたスナックの壁に貼られた詩吟のチラシです。見入っていると入会を誘われ、軽い気持ちではじめてから十数年、努力不足もあり未だ腹式呼吸がうまく出来ず渡辺緑翔先生も半分(全部?)指導をあきらめているのではないかと思います。

後期高齢者になりましたが、本に「年を重ねただけでは人は老いという言葉を失うとき初めて老いる」という言葉がありました。一日一日健康に留意し「吟は厳しく、会は楽しく」「限りなき前進」をモットーに一吟一詠を心掛け精進したいと思えます。

今後とも宗家先生、渡辺緑翔先生、浦田緑鴻先生はじめ諸先輩の皆様、まだまだ未熟な私ですが、これからもよろしくご指導の程お願い致します。尚、雅号は新元号の令和から令をもらい「緑令」とし、認可戴きました。



第44回 府連出場者決定兼競吟大会

高槻現代劇場 令和2年1月5日(日)



入	入	入	入	入	入	入	上	上	上	上	上	五	四	準	準	優
賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	位	位	位	位	位	位	位	々	々	勝
田	徳	西	阪	金	安	河	三	遠	辻	神	松	島	浅	福	木	一
中	岡	部	井	田	田	江	谷	藤	崎	永	喜	野	永	直	下	般
紀	江	重	悟	和	厚	合	智	靖	悦	安	幸	滋	人	真	次	
子	子	世		彦	子	子	子	子	子	雅	代	夫				

府連出場者決定兼
一般之部大会成績

第44回 緑号・師範之部競吟大会

高槻現代劇場 令和2年2月9日(日)



【師範之部 府連出場資格者】

【緑号之部 入賞者】

入	入	入	入	入	入	入	入	入	上	上	上	上	上	五	四	準	準	優
賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	賞	位	位	位	位	位	位	位	々	々	勝
三	中	松	石	津	片	辻	福	浅	青	中	徳	西	垂	島	石	福	木	加
谷	野	永	田	熊	山	本	本	野	野	塚	岡	部	水	田	川	永	下	藤
茜	裕	永	篁	岳	都	芳	邦	昇	飛	庵	江	楠	花	聲	誓	獅	鋒	皓

緑号・師範之部
競吟大会成績

（二部指導者の部）
府連出場資格者

（入賞は出吟順）
宮内 緑郷
松本 緑遥
米田 緑海
松野 緑燦
井内 緑叡
木原 緑侏
福本 緑景
西岡 緑春
松村 緑圭
中山 緑山
（プログラム順）

第45回淀川東淀川吟士権者決定詩吟大会
結成45周年記念大会 令和元年9月23日(祝)

合吟の先導をされた方に、
編集部が突撃インタビュー

合吟3位！緑の着物チーム

Q 先導されて、いかがでしたか？

(神谷) も〜っ！ドッキドキ!!
前のグループと同じ吟だったので緊張！言葉を忘れないように必死でした。

一節先導した後に、一歩下がらないとダメとか、一つ一つの動作もリードするという上で苦労しました。先導の難しさを痛感したけれど、すごくよかったです！一人でするより良かった！



本番直前練習風景

(中野・團) 神谷さんにとってご自身のためにもなってよかったですと思う(神谷) 結果3位！うれしい！
当日、早く帰られた織田さんからメンバー全員にハガキを頂いて、それも嬉しかった♪ただ、残念なのは全員で記念写真が撮れなかったことです。

合吟上位入賞！男子チーム

Q 先導されて、いかがでしたか？

(吉村) 歩き方から、渡辺先生にご指導いただき、色々考えていたら詩文を忘れそうになって、緊張しました。あと、僕の声が大きいのでみんな、ついてきてくれるかな〜と。

Q 上位入賞おしかったですね。

(吉村) 吟じ終えたら、みんな「良かった、良かった」と言ってくれたので、1位か、2位にでもなっているかと思っただから、上位入賞で、ガツクリした…。



結成45周年記念大会

けど、今思ったら、貰えるものは貰ったほうが(笑)
ま、もう、いらんわ!!(笑)(笑)(笑)

合吟入賞！緑のスカートチーム

Q 先導は初めてですか？

(広瀬) 十三年前にもさせて頂いたことがあります。

Q 先導されて、いかがでしたか？

(広瀬) 私が失敗したらチームのみんなの足を引っ張る〜って思っただけ緊張しました！

Q 何が一番難しかったですか？

(広瀬) 合同練習では、なかなか揃わなくて、ほかのチームより多く練習させて頂いたのに、最後まで声が小さいなどの指摘も受けました。



結成45周年記念大会

Q 入賞されたご感想は？

(広瀬) 入賞を頂くことができホッとしました。チームで話し合い頑張ったことはとても意義のある大きな経験だったと思います。

合吟入賞！緑のコサージュチーム

Q 先導されて、いかがでしたか？

(三谷) 先導：ダメやったな〜
先導は大変で、ドキドキ!! メンバーには若い人もいたし、私よりそちらにやっても

ちらにやってもらって〜私でなくてもいいやん!! 思ったこともあった〜。



第45回 吟士権者決定詩吟大会 結成45周年記念大会



↑三谷さんが何度も言った若い人

いろんな人と少しの間でも一緒に練習できて、若い人もたくさんいたし入賞いただけでめっちゃうれしい!
みんなでやるって、達成感があったいいよな！っておもった。

合吟メンバー一同より

ご指導くださいました先生方、ありがとうございました♪

第四十七回 高槻市吟剣詩舞道連盟
決勝大会

〈一部 優勝〉

日時 令和元年11月3日(日)
場所 高槻現代劇場
市民会館 大ホール

川西支部◇西本朱里



「優勝は百三十六番、西本朱里さん」と自分の名前が呼ばれた時、跳び上がりたくなるほど嬉しかったです。周りにいらつしやつた緑崇流の先生や先輩方が「おめでとう」とたくさん祝ってくれ、喜びも倍増でした。

今回の高槻連盟では前年と違い、一歳下の女の子がいました。彼女とは前年度の藤井竹外大会で出会い、今は個人的に連絡を取って励ましあう仲です。友だちであると同時に、好敵手である彼女が初めて高槻連盟に出場し、私の緊張感もすごく大きかったです。五月に行われた吟剣の府大会では残念ながら負けてしまいましたが、今回は私が優勝を頂く事が出

来、とても安堵しました。流派は違いますが、詩吟を通して出会えた大切な友だちと、これからも切磋琢磨しあえたら良いなあと思います。

年齢や性別、流派を問わず色々な方と吟を通して出会えたことも、吟を始め良かったと思う事のひとつです。

今後また皆さんの素敵な出会いが待っていると信じ、吟を続けていきたいと思っています。学業との両立でご迷惑をおかけしてしまふこともあると思いますが、これからも精一杯がんばりますのでよろしくお願い致します。

第十一回 藤井竹外奉賛全国吟詠大会

日時 令和元年11月24日(日)
場所 高槻現代劇場 中ホール

〈優勝〉

みつわ支部◇宮内緑郷



この度、優勝(竹外賞・美山賞・高

槻市長賞)という栄えある賞を頂きました。これもひとえに宗家 箕輪緑崇先生、渡辺緑翔先生を始め、多くの先生方の厳しいご指導の賜物であります。ありがとうございました。

年齢や性別、流派を問わず色々な方と吟を通して出会えたことも、吟を始め良かったと思う事のひとつです。

今後また皆さんの素敵な出会いが待っていると信じ、吟を続けていきたいと思っています。学業との両立でご迷惑をおかけしてしまふこともあると思いますが、これからも精一杯がんばりますのでよろしくお願い致します。

今後共、健康に留意し、吟道に精進して参りますので、ご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。



シリーズ「多趣多芸」
マラソンと共に

玉造支部◇渡部祥太

私は昨年(2018年)の大阪マラソン出走を機に、趣味としてマラソンをしています。マラソンは地味で過酷な競技で、まさに自分との戦いです。詩吟と同じで決して練習が嘘をつくことはありません。

それは今年(2019年)4月のことです。とあるハーフマラソンに臨んだ私は、大阪マラソンを初のフルマラソンにしては上々のタイムで終えたことに高を括って、十分な準備をしていませんでした。すると結果は散々なもので、練習不足が祟り脚が痛くなって後半に大失速。理想の走りができず悔しい思いをしました。

この経験から改めて、成功への一番の近道は真摯に練習に励むことだと気づかされました。今年も大阪マラソンに出走しますが、昨年の自分を越えられるように精進する毎日を送っています。



完走後のインタビュー



安岡さん(右)と

※「多趣多芸」の記事は、大阪マラソンの前(11月7日)に書かれたものです。12月1日の大会当日は3時間40分で見事完走されました。他にも実業団のマラソン大会など、安岡節也さんと出走されたりしています。マラソンに詩吟にますますのご活躍を期待しております。(担当講師:津村緑秀)

春のハイキング 私市くるんど池

クローバー支部◇平井捷夫



恒例のハイキング。今回は五月五日の子供の日である。目的地はくるんど池、京阪電車私市駅での待ち合わせとなった。天候はまずまずのところ、案内ハイキング日和と言っても良さそうである。参加人数は十人余り、少し女性の割合が多いようだ。

さて、全員が揃い出発である。少し身体が馴染んで来た頃、小さな川に合った。そしてその川に沿い、ひたすら山を登っていった。少し辛い時間帯が続いたが、美しい景色などを見られた時は、来て良かったと思った。そして、やっとの事で目的地に到着した。全員

で弁当を頂いたが、大勢で食べるとなかなか美味しいものだ。また、河田緑峰先生から頂いたお漬物は特に美味しかった。

食後、くるんど池を一周したが、広くて美しく良い所だと改めて思った。又、行儀悪くソフトクリームを食べながら歩いたが、若い頃に戻った感じだった。

そして帰るときが来た。急な下り坂もあり、落ち葉も多クとも滑りやすくなっていた。しかし最終グルーブの全員が力を合わせ無事に下山出来た。楽しい一日だった。

秋のハイキング 犬鳴温泉(泉佐野)

川西支部◇島田緑皓



晩秋の十一月三十日(土)難波に集合し、送迎バスで貝塚の水間観音に参拝の後、犬鳴温泉に着きました。

真言宗の修験道の霊場で知られる犬鳴山、七宝瀧寺の行者の滝を目指しての片道四十分のハイキングです。美しい渓谷、うっそうとした森林を進むと、大小の滝や、いたるところに修験道の行場があり、神秘的な雰囲気を感じられました。

昼食後は美人の湯の温泉に浸かり庭の紅葉を眺めていると、疲れも癒されゆつたりとした時を過ごせました。ハイキングの途中で引き返した人は、二度の入浴で肌がツルツルになったとか?

帰りは道の駅「愛彩ランド」でのお買い物。みかんをおみやげに、夕暮れの難波に帰ってきました。

紅葉は数日前の嵐で散ってしまい、残り少なく残念でしたが、真っ赤な紅葉やどんぐりのじゅうたんてで充分秋を満喫することが出来ました。

お世話してくださった皆様、楽しい一日をありがとうございました。

高槻市吟剣詩舞道連盟より「あま弥生の観月会」に出演

日時 令和元年9月14日(土)
場所 高槻市安満遺跡公園

副会長 宮原緑晃
(高槻市吟剣詩舞道連盟会長)

高槻市には、三月に開園した「安満遺

跡公園(甲子園5個分の広さ)が有ります。この公園を育てる団体である「安満人倶楽部(あまんどクラブ)」の企画により、この地域の弥生時代のロマンを偲び、秋の夜長を楽しみながら、心身ともにリフレッシュするため、「中秋の名月を鑑賞する市民の集い」を開催する事が決まり、高槻市吟剣詩舞道連盟として出演する事になりました。当日は、朝から晴れ渡り、夕方には雲ひとつない「名月」が煌煌と輝き、まさに観月会にふさわしい舞台となりました。

夕方には子供たちを対象とした「紙芝居」や「物語の朗読」が催され、「琴」「尺八」「長唄」は、関西大学邦楽部が演奏。そして最後に「山中の月」を宮原緑晃、宮内緑郷の二人で連吟を披露。舞は天津流の四名で、観客から大喝采を頂き、見事な観月会は幕となりました。



第六回 井内緑叡おさらい会

日時 令和元年12月15日(日)
場所 五領公民館

五領支部◇奥村緑星

今年も井内緑叡先生の計らいで「会員のメンバーが一回でも多く、マイクを使用して、人前で吟じる事を経験し、大会において少しでも自分の実力を発揮出来るように！」との目標で始まったおさらい会も満五年が過ぎました。昨年引き続き宮原緑晃先生も来賓として参加戴きました。



今年初参加の二名を含み絶句、律詩を問わず二題を自由に選択し前半と後半に分けて吟じました。宮原緑晃先生には来賓吟詠、井内緑叡先生には講

師吟詠として吟じて戴きました。毎年恒例の故白波瀬緑斎先生のリサイタルのCDと一緒に武田節を合吟して終了しました。

終了後、時間に余裕が出来たので宮原緑晃先生に一人一人に発音、発声、節調、詩情、態度について講評を戴きました。

来年一月から始まる大会では教えを胸に練習を行い、少しでも進歩した吟が出来る様に頑張りたいと思います。

会場を移動し、恒例の「合同忘年会」へと展開、吉田緑外さんの乾杯の音頭で始まり、今年の反省、新年度の目標、抱負等を語り合い、美味しい料理を堪能し、楽しい時間を過ごし、来年の躍進を祈りつつ「二本締め」で散会となりました。

第二十七回 渡辺緑翔門下温習会

日時 令和元年12月8日(日)
場所 プラザオーサカ19階「淀の間」

十三北野支部◇徳岡緑江

冬晴れが心地いい師走の一日、淀川を眼下に望む会場で「温習会」が行われ、門下生一同が「楽しく、気持ちよく、日頃のお稽古の成果を発表する事ができました」。

全国吟詠コンクール北連合大会(一般二部)で見事優勝された加賀山豊

さんが力強い吟詠を披露。また、吟道精励四十五周年の渡辺緑翔先生をはじめ、喜寿を迎えられた方々での合吟「宝船」はまさにめでたく、圧巻の舞台でした。

中山緑山先生の乾杯の音頭で始まった懇親会では、三つの支部が楽しい余興をお披露目。三十周年の淡路トマト支部はD A P U M Pの「U. S. A.」



ダンスから一転、北島三郎の「まつり」の熱唱タイムへ。四十周年の十三北野支部はジャニーズの「嵐」と鞍馬天狗「嵐寛寿郎」、新旧「嵐」の共演を。玉造支部は前回のリベンジ「三味線と太鼓の生演奏で「鹿児島おはら節」を歌い、会場を盛り上げてくれました。

会場全体が一つになり「これぞワンチーム」を実感。このチームワークを大切に、渡辺緑翔先生のもと、目標に向かっ

て日々精進していければと思った一日でした。



会員通信

西岡緑春先生

厚生労働大臣賞受賞

「現代の名工 卓越技能賞」

令和元年の現代の名工に大阪府内から九名選出。そのなかで唯一女性として西岡緑春先生が寝具部門で卓越技能賞に選ばれました。

十一月十一日(月)リーガロイヤルホテル東京で厚生労働大臣から表彰されました。誠にありがとうございます。



ニュース東西南北

大会記録

〈大阪府吟剣詩舞道総連盟〉

第43回全国吟詠コンクール大阪府北連合大会

一般二部

〈決勝進出〉優勝 加賀山豊

一般三部

〈決勝進出〉

2位 辻 廣一 3位 木原恵子
4位 西岡悦子 5位 松本八重子
8位 米田宇一 9位 神崎安雅
13位 井内鈴子

第43回全国吟詠コンクール大阪府大会

少年の部

〈上位入賞〉西本朱里

一般一部

〈決勝進出〉2位 加藤恭子 7位 津村真紀

一般二部

〈決勝進出〉8位 島田久美

〈上位入賞〉福永直人・中塚宏輝

一般三部

〈決勝進出〉優勝 西岡悦子 2位 石川洋子
松本八重子・福本 侑・木原恵子

〈上位入賞〉米田宇一・青野治子・福本早苗
辻 悦子・神崎安雅・島田喜久子
井内鈴子

第43回全国吟詠コンクール近畿決勝大会

一般一部〈入賞〉加藤恭子

一般三部〈決勝進出・上位入賞〉

9位 石川洋子 12位 木原恵子

13位 島田喜久子

〈入賞〉井内鈴子・福本早苗・西岡悦子

〈大阪府詩吟連盟〉

第9回全国ジュニア・シニア吟士権大会

〈ジュニアの部〉

〈上位入賞〉西岡大輝(愛連出場資格者)

〈シニアの部〉

〈決勝進出〉2位 若杉 高 12位 中山孝彦
20位 垂水時子(愛連出場資格者)

第61回第一部吟士権者決定詩吟大会

(一般の部)

〈決勝進出〉10位 加藤恭子 13位 青野治子

〈上位入賞〉島田喜久子・石川洋子

(愛連出場資格者)

第61回第二部吟士権者決定詩吟大会

(指導者の部)

〈決勝進出〉4位 西岡緑春 14位 松野緑扇

〈上位入賞〉木原緑侑(愛連出場資格者)

〈愛国詩吟総連盟〉

第74回第一部吟士権者決定詩吟大会

(一般の部)

〈決勝進出〉上位入賞(15位) 加藤恭子

第74回第二部吟士権者決定詩吟大会

(指導者の部)

〈入賞〉西岡悦子

〈日本クラウン株式会社〉

第47回クラウン全国吟詠コンクール近畿大会

〈準入賞〉神崎安雅(全国決選大会出場)

〈淀川・東淀川詩吟連盟〉

連盟結成45周年記念 吟士権者決定詩吟大会

合吟の部

第3位女子(若杉アサカ・中野裕子・神谷啓子
織田初美・片岡美代子・團 幸子)

上位入賞男子(金田和彦・島袋 隆・吉村昌樹
安岡節也・山本勝彦・渡部祥太)

一般一部〈3位〉田脇正枝

一般二部〈2位〉福永直人

一般三部〈上位入賞〉浅野滋夫・神崎安雅

一般四部〈3位〉垂水時子

〈高槻市吟剣詩舞道連盟〉

第47回高槻市吟剣詩舞道決勝大会

独吟の部 一部 優勝 西本朱里 3位 岡本洋子

独吟の部 二部

〈決勝進出〉5位 島田喜久子

独吟の部 三部

〈決勝進出〉3位 片山美都子

第11回藤井竹外奉賛全国吟詠大会

〈決勝進出〉優勝 宮内幸夫 3位 津村真紀

4位 島田久美

〈上位入賞〉8位 島田喜久子 10位 青野治子

11位 木下真次 13位 福永直人



第33回 関西クラウン吟詠家
ジョイントリサیتال

日時 令和元年8月18日(日)
場所 尼崎市総合文化センター
あましんアルカイックホール

夜明けの群像
勝海舟「氷川清話」より

第一部
妻、民子の回想

第二部
維新の偉人達

〈当会より出演者〉
宮原緑晃 加藤緑絆 渡辺緑翔
木原緑侑 宮内緑郷
(敬称略 出演順)

他流派の記念大会に出演して

日時 令和2年1月26日(日)
場所 岸和田市立波切ホール
治宮支部◇加藤緑絆

中尾仁泉先生の「吟道六十周年記念
吟剣詩舞道大会」が開催され、当会よ
り箕輪緑崇宗家会長、渡辺緑翔理事長
が来賓として、津村緑秀先生及び西岡
緑優さん、加藤緑絆が構成吟に出演し
ました。

来賓の吟詠では、宗家箕輪緑崇先生
の「中庸」、渡辺緑翔先生の「清明」。
構成吟では、津村緑秀先生と私の連吟
「児島高德」、大トリは、西岡緑優さ
んの「本能寺」。リハーサルなしの一発
勝負!無事に終えることができました。
中尾仁泉先生の人情味溢れる、あた
たかいお祝いの会でした。

【編集後記】

昨年来より猛威を振るっている新型コ
ロナウイルスは競吟大会等に影響を与え
会報編集も例外ではありませんでした。
発行が迫っている中、予定の記事を変更
し、四十五周年の記事もまとめる事がで
きたと思っています。会員が手にする頃
は通常の世に戻っていることを願います。

(編集長 米田緑海)

